

佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート

2022年
2月号

シンポジウム・研究成果発表会が催されました。

2022年2月17日木曜日、佐賀大学教職大学院では、毎年恒例となっている〈シンポジウム・研究成果発表会〉をオンラインにて開催しました。今号では、その様子を紹介します。

〔第1部 シンポジウム「学びの変革—主体的・対話的で深い学びの実現—」〕

午前中は、教職大学院の岡陽子教授による基調提案を基に、佐賀県内の学校に勤務される現職の先生5名にシンポジストとしてお越しいただき、シンポジウムが開催されました。新学習指導要領による学力観の変遷に伴い、学校教育において、子ども達が従来の学習の形にとらわれずに「真正の学び」を行うためには、どのように変革していく必要があるのかを改めて考えるきっかけになりました。また、今後の研究において、子ども達自らが問いをもち、学習に主体的に向かい、学校で磨かれた知識・技能を学外の生活に活かしていくことができるよう、「子どもの生きる力」を育む視点を大切にしていきたいと考えることができ、大変有意義なシンポジウムでした。

〔第2部 研究成果発表会〕

午後からは、教職大学院の修士課程2年生(以下、M2)による〔研究成果発表会〕が3つのコースそれぞれで行われました。以下は、各コースの修士課程1年生(以下、M1)が発表を聴いた感想です。

〈授業実践探究コース〉

先輩方の、理論と実践の往還に基づいた研究発表を拝聴しました。その後の参加者からの質問も含めて、非常に有意義な時間を過ごさせてもらいました。ここで得たことを次年度の研究に活かせるよう努めます。

〈子ども支援探究コース〉

学部卒業等学生2名、現職教員等院生5名による成果発表が行われました。多様化する子どもの特性やニーズ・学校の抱える課題に着目し、UDやSST、認知行動療法といった、様々な方法や視点をを用いて実践し、課題解決に向けた研究が行われていました。子ども達の姿をどのように見取り、子ども達に寄り添った支援をしていくのかについて、具体的な方法やその重要性を学ぶことができました。

〈教育経営探究コース〉

現職教員等学生5名による研究成果発表が行われました。所属校の現状から研究テーマを見出し、校内研究や防災教育等を核として組織マネジメントや協働づくり等の学校改善を行ったことが報告されました。発表ごとに交わされる質疑応答や助言を通して理解も深まり、有意義な発表会になりました。

私たちM1は、先輩であるM2の皆さんの発表を通して学んだ知見を、今後の実践に活かせるように念入りに準備して来年度を迎えようと、気を引き締め直しました。

最後に、M2の皆さん、2年間の研究、本当にお疲れ様でした。